

命のパスポート

シリーズ 96

梅雨入りシーズン 大雨対策を万全に!

梅雨を迎え、大雨が発生しやすい時期になりました。これから夏にかけ台風、ゲリラ豪雨と、激しい雨による危険は連続して襲ってきます。

箕面市では、豪雨や台風が相次いだ平成26年に、市内のあちこちで用水路や側溝から水があふれだし、浸水や土砂崩れにより多くの人が避難する事態に陥りました。これを受けて、市では被害に遭った地域で緊急的に浸水対策を実施しました。さらに、抜本的な浸水対策を進めるため、全市の浸水シミュレーションを行い、平成28年度に市内約50カ所についての「箕面市水防整備指針」を策定しました。平成29年度からは、この指針に基づき、浸水の危険性が高いところから順次、浸水対策を進めています。

ご家庭では、家の周りの側溝が詰まっていれば掃除をするなど、できるだけ早く大雨対策を行ってください。

箕面市では 市内50カ所以上で、浸水対策をどんどん進めています!

市内50カ所以上で順次、浸水対策を進めています。平成27年度～30年度の4年間で、市内34カ所で浸水対策を実施しました。令和元年度には、下図のとおり市内10カ所で浸水対策を実施します。

令和元年度実施予定の浸水対策

●側溝の新設・改良 ▲排水管の新設・改良
※平成27年度～30年度に実施した浸水対策は、★で示しています。

ご家庭での備え、万全ですか?

絶対、これだけは!
3日分の水・食糧を備蓄してください!

大雨の中を買い物に出かけなくて済むよう、水や日持ちする食べ物を普段から買い置きしておきましょう。水・食糧の備えは、大地震が起きたときのためにも必要です。大地震が起きた直後は、外部からの支援が3日間届きませんので、3日間持ちこたえられる量を備蓄してください。

水 9ℓ×家族の人数

ひとり1日3リットルの飲料水が必要です
4人家族なら
9リットル×4人



食糧 普段食べているものでOK!

調理しなくても食べられるものをそろえてください
●レトルト食品 (おかゆ・雑炊・シチューなど)
●缶詰・びん詰め食品



冷蔵庫やパントリーはいつもいっぱい!
普段から、多めに買い置き、古いものから消費して、使ったらまたすぐ買い足しておく。常に「新しい在庫」を家に置いておきましょう。

もう、準備していますよね? 非常用持ち出し袋

停電・断水時や、緊急の避難時に、すぐ使用したり、持ち出すことができるよう、備蓄品の一部や無いと困るものをリュックなどにまとめて、玄関周りに置いておきましょう。

100円ショップやホームセンターでそろえるのばかりです!

- 乾電池
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 簡易トイレ
- 笛・ホイッスル (助けを呼ぶため)

●無いと困るもの

- *水を少しと軽い食糧
- *赤ちゃんの粉ミルク・おむつ
- *いつも飲んでいる薬
- *コンタクトレンズ (または予備のメガネ)
- *生理用品
- *ティッシュ

両手が自由になるリュックがベストです!

いざ、大雨が降り続いたら 箕面市の情報を入手してください!
豪雨や台風の時、災害時の緊急情報を
タッキー816 FM81.6MHz で繰り返しお知らせします!

箕面市では、市民に被害が及ぶような重大な災害が発生したときは、災害対策本部を設置し、災害時の緊急情報をタッキー816(FM81.6MHz)で、繰り返し放送します。いざというときのために、持ち運びができるラジオを買っておいてください。スマートフォンなどで、タッキー816を受信できるものがあります。

避難などに関する市からのお知らせは…
タッキー816 (FM81.6MHz)、市民安全LINE、市民安全メール、市民安全ツイッター、市ホームページの緊急情報、防災スピーカー(公園などの大型スピーカー)から配信します。

防災スピーカーからの放送は、災害時における情報発信ツールの一つです。建物内にいるときは聞こえません。また、屋外にいても、雨風が強いときなど状況によっては聞こえないので、**タッキー816(FM81.6MHz)**を聞いてください。

市民安全LINE @minohcity
今年1月から配信スタート!
登録用QRコード▶

市民安全メール
登録用QRコード▶
※市ホームページ右上のQRコードからも登録できます。

市民安全ツイッター @Minoh_Anzen

市民安全メールが便利!
市民安全メールが、知りたい種類の情報だけを受け取れるようになりました。
☑台風・豪雨時の避難など 防災情報
☐詐欺被害や声かけ事案など 防犯情報
☑落雷警戒情報

登録がお済みでないかたは、ぜひ登録してください。なお、既に登録しているかたは、お手数ですが登録を一旦解除して、再登録いただくと、受け取りの設定ができます。

決して外出はしない! **危険!** 豪雨や台風の際の田、用水路、ため池などの点検は大変危険です。

豪雨や台風の際、ご高齢のかたが行方不明になったというニュースをよく耳にしますが、その多くは、田、用水路、ため池など農業施設の点検のために外出したことが原因です。昨年も、豪雨の日に「用水路のようすを見に行く」と言って自宅を出た60代の男性が、行方不明になる事案が発生しています。自分で大丈夫だと思っても、決して外出はしないでください。

また、どうしても外出しようとするかたがいたら、ご家族で絶対に引き止めてください。万が一見に行かなくてはならない状況のときは、必ず複数の人で連れ立って行くようにしてください。

ご家庭では 次のチェックポイントを参考に
できるだけ早く、大雨対策を行ってください!

家の周りの側溝に落ち葉やごみなどが詰まっていますか?

側溝にごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていると、水が流れず冠水の原因になります。1カ所の詰まりが周囲の冠水を引き起こし、自分の家の周りだけでなく、地域全体に大きな被害をもたらします。雨が降り出してからでは手遅れになります。家の周りの側溝をチェックして、ごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていたら必ず掃除をしてください!

側溝の掃除は、ぜひこの日に!
6月9日
「クリーン・みのお作戦」

6月9日(日)、市内一斉の清掃活動を行います。この日、側溝のごみや土砂は、事前に配布する専用のごみ袋・土砂を入れる袋で出していただければ、無料で回収します。家の周りの側溝を掃除する絶好の機会です。ぜひ活動に参加してください!

なお、専用のごみ袋・土砂を入れる袋の配布申込は6月4日(火)が締切です。申込方法など、詳しくは環境整備室(☎729・2371)へお電話ください。
※「クリーン・みのお作戦」は、毎年9月に実施していましたが、今年度から6月の第2日曜日に開催します。

ごみや土砂を無料で回収!

土のう(土袋)の準備を!

玄関先など、浸水の恐れがある場合は、土のう(土袋)があると安心です。ホームセンターには、水に浸すと膨れる薄型・軽量の土のうが販売されています。浸水を防ぐために必要となる土のうの数は、標準サイズ(縦60cm×横40cm)で、間口1m当たり5個以上がめやすです。

間口1m当たり5個以上がめやすです。

水に浸すと膨れる薄型・軽量土のう

水に浸すだけだからとってもカンタン!

●「防災マップ」記載誤りのお詫び 5月号のもみじだよりと一緒に配りした「防災マップ(令和元年5月発行保存版)」において、地図上の住所を誤って「西宿四丁目」と記載してしまいました。正しくは「今宮四丁目」です。お詫びして訂正いたします。